

秋の文化祭 色とりどり！

11月2日・3日の両日、横越町中央公民館主催による秋の文化祭が開催されました。

今年は新たに「フリーマーケット」も開催し、バラエティに富んだ文化祭となりました。

会場には、菊花・書道・絵画・写真・陶芸・手工芸の常連サークルの作品が並び、婦人大学の「しゃくなげ」、草木染の会の「染布」が華やかさを添えていました。

「横越町デイサービス」や「機能訓練あゆみの会」の大作も出品され、大勢の見学者で賑わいを見せっていました。

また、陶友会による陶器、手工芸サークルの造花のチャリティーバザーも行われ、大好評でした。



美浦村産業文化祭 横越産の品々が大盛況

姉妹村の茨城県美浦村で11月3日に「第20回美浦村産業文化祭」が開催され、本町からも農政商工課長を団長にJA亀田郷みなみ等の関係者16名が参加しました。

当日は、販売前より横越産の品々を買い求めにきた美浦村の方々の長い行列ができ、ゴボウが開始30分で完売したのを始めとして持参した長芋、梨、チュークリップは1時間半ほどで品切れになったほどの盛況ぶり。今年は初の試みとして、モクズガニを試食してもらった方よりチャリティー募金を募り、美浦村へ同村の福祉にと寄付しました。

前日には、美浦村の方々より手厚い歓迎会を催していただきなど、交流を深め合うことができた2日間でした。



アジア青年と国際交流 「アジア炉端トーク」開催

「東南アジア青年の船」事業による訪日団のうち10名が、11月14日から16日まで町の6家庭でホームステイを楽しみました。15日は、この10名を囲んで木津の改善センターで「アジア炉端トーク」が開催されました。

これは、ホームステイ受入れを実施したよこごし国際交流協会（田村泰一会長）が主催して行い、同協会の役員や地元の方々の手料理を食べながら、青年たちの祖国タイやマレーシアの歌の披露、また、全員で「上を向いて歩こう」の合唱など楽しいひとときをすごしました。



忘れていませんか 国保の退職者医療制度

国民健康保険には、退職者医療制度というものがあります。この制度は、会社などを退職後に国保に加入し、70歳からの老人保健法の適用を受けるまでの間、年金生活をしている人とその被扶養者のための医療保険制度です。

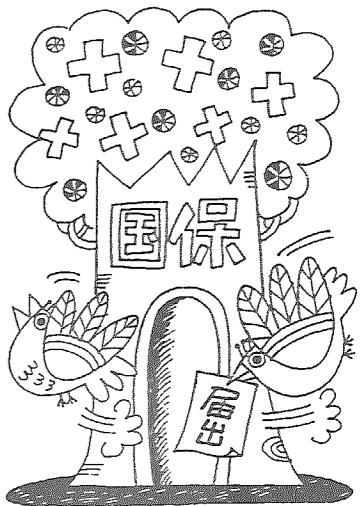
対象となる方

(1) 退職被保険者（退職本人）

- 国民健康保険加入者で老人保健法の該当となっていない人
- 厚生年金や共済組合などの老齢（退職）年金を受給している人か、通算老齢（退職）年金を受給していて通算の加入期間が20年以上、または40歳以降の加入期間が10年以上である人

(2) 退職被扶養者（退職扶養）

- 退職者本人と生活を共にし、主な収入を退職者本人に頼っている人（配偶者、三親等内の親族など）
- 国民健康保険加入者で、老人保健法の該当となっていない人
- 年間の収入が基準額未満の人



*上記に該当する人は、年金受給権が発生した日、または国保に加入した日より退職の制度の対象となります。お早めに町民生活課窓口に届出をしてください。

届出に必要なもの

- ・年金証書（2枚ある方は両方とも）
- ・印鑑
- ・国民健康保険証（既に交付されている時）

退職者医療制度の自己負担額

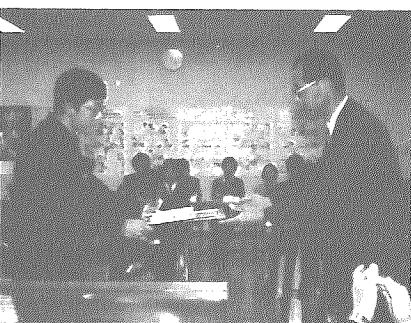
退職被保険者	外来 2割	入院 2割
被扶養者	外来 3割	入院 2割

◎問い合わせ先 町民生活課 国保係 ☎ 385-2111 (内線121・122)

横越町租税教育推進協議会でそれ
の作品が選ばれ、十一月七日の
応募総数二九〇点の中から次
を募集してきましたが、このた
を表彰されました。

横越町租税教育推進協議会でそれ
は税教育の一環として、横越中
学生を対象に「税に関する標語」
を選ばれ、十一月七日の
応募総数二九〇点の中から次
を募集してきましたが、このた
を表彰されました。

国税局長賞佳作	・大竹康太 二年
新潟税務署長賞	・星野喜江 二年
「いつまでも つづく未来に 生きる税」	・横越町長賞 ・佐藤可奈 一年
「見てごらん 税のある場所 夢がある」	・高橋知里 一年
「消費税 私にできる 国づく り」	・永井祐樹 一年
「税金があなたのくらしの お手伝い」	・鈴木佳菜 三年
「小さな税 つもつて生まれる る未来」	・仲村直樹 三年
「大きな幸せ」	・鈴木佳菜 三年
「みんなの税 正しく納めて 良い未来」	・鈴木佳菜 三年



平成九年度「税に関する標語」
横越町租税教育推進協議会でそれ
は税教育の一環として、横越中
学生を対象に「税に関する標語」
を選ばれ、十一月七日の
応募総数二九〇点の中から次
を募集してきましたが、このた
を表彰されました。

横越町租税教育推進協議会でそれ
は税教育の一環として、横越中
学生を対象に「税に関する標語」
を選ばれ、十一月七日の
応募総数二九〇点の中から次
を募集してきましたが、このた
を表彰されました。

横越町租税教育推進協議会でそれ
は税教育の一環として、横越中
学生を対象に「税に関する標語」
を選ばれ、十一月七日の
応募総数二九〇点の中から次
を募集してきましたが、このた
を表彰されました。